



事務局ニュース 〈7号〉 2017. 9. 7

突然の大雨・雷雨など不安定な天候が続いた夏でした。夏休みも終わり授業が始まりました。夏バテなどしていませんか？
この夏届いたニュースをお届けします。

8月17日から3日間、鹿児島市鴨池公園プールで行われた「第57回全国中学校水泳競技大会」は、「感動！ 夢舞台！！ 絆をつなげ九州の地で」のスローガンのもと、全国から1084名の中学生スイマーが集結し、熱戦が繰り広げられました。

愛知県からは、61名の選手が参加しました。競泳の部7名、飛込の部2名の選手が、上位8位までに入賞し活躍しました。森 輝平君（宝神中）・加藤 晃成君（豊橋東部中）・倉知 玲央奈さん（保見中）・石渡 遥さん（依佐美中）については、出場種目で3位までに入賞し、全国大会の表彰台に上がることができました。

来年度の全中は、岡山が会場になります。より一層の活躍を期待します。（中体連より）

長野で行われた「日本泳法大会」の視察に、日本泳法練習会メンバー10名で行って来ました。道中に時間がかかりプールでの滞在が少なく残念でしたが、初めての大会にビデオを撮ったり、競技の内容を質問したり、皆さん有意義に過ごされました。私たち愛知で取り組んでいる「小池流」の方々も団体競技で決勝に残る活躍をされていました。公開演技では下記の流派が素晴らしい演技を見せてくださり、これからの練習に刺激をもらいました。

9月・11月の練習会・講習会には師範がお見えになるので、興味のある方は是非参加していただき、「小池流」の普及に努めていきたいと思えます。（日本泳法委員長）



山内流の旗振り

*立泳ぎで旗を水面に付けないように降る



水府流太田派

*抜手の雁行は見栄える

前回6号で紹介した選手達が全国J0で頑張った報告を受けました。高校野球でもそうですが、全国制覇をすることは大変なことです。坂本君は、決勝には残れましたが「金か銀」をとる目標が「銅」止まりと残念な結果でした。その中で山口愛華さん（東邦 SC）は、3種目決勝に残り1日6種目という過酷な状況で、200m個人トローで優勝されました。控え目な彼女も決勝前には涙が出たそうです。

大きな目標のひとつとして全国J0に出場し活躍された選手の皆さん、お疲れ様でした。



オープンウォータースイミング
三重オープン2017 尾鷲
尾鷲三木里海岸にて
7/30 曇り・雨でうねりあり
山に囲まれ、自然たっぷりの海
参加者より写真を頂きました

